

## 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

## 学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などに関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 評価の観点

| 学期          | 月                                    | 内容のまとめ  | 単元                                   | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-------------|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--|---|---|
| 一<br>学<br>期 | 4<br>・<br>5<br>・<br>6<br>・<br>7<br>月 | おが情<br>うら景<br>を思<br>表情<br>豊浮<br>かか<br>べな                  | 歌唱：<br>校歌・<br>浜辺の<br>歌               | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。    | ・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。                                   | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |
|             |                                      | う器曲<br>楽想<br>表感<br>現じ<br>を工<br>取取<br>夫つ<br>して<br>よ、       | 器楽：<br>アルト<br>リコー<br>ダー<br>(箏)       | ・曲想と音楽の構造と楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かし、全体の響きや音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 | ・音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。                              | ・曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。       |
|             |                                      | 景目<br>をし<br>思な<br>がら<br>浮か<br>べ情                          | 鑑賞：<br>春                             | ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。  | ・音色・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ・曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  |
|             |                                      | 特音<br>徴の<br>つな<br>がな<br>がそ<br>う方<br>の                     | 創作：<br>音のつ<br>ながり                    | ・音のつながり方の特徴について理解している。<br>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせの技能を身に付けている。          | ・音色・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え創作表現をおこなっている。   | ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。                           |
|             |                                      | 表を曲<br>現感<br>を思<br>工取<br>夫取<br>つた<br>して<br>よ、<br>う歌<br>唱割 | 合唱：<br>各クラ<br>スコー<br>ラスコ<br>ンクル<br>曲 | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。   | ・音色・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。                         | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |

|             |   |   |                                      |   |  |  |   |
|-------------|---|---|--------------------------------------|---|--|--|---|
| 二<br>学<br>期 | 9<br>・<br>10<br>・<br>11<br>・<br>12<br>月 | う<br>現<br>を<br>創<br>意<br>工<br>夫<br>し<br>よ | ぶ<br>さ<br>わ<br>し<br>い<br>器<br>楽<br>表 | 器楽：<br>アルト<br>リコー<br>ダー<br>( <small>箏</small> ) | ・曲想と音楽の構造と楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かし、全体の響きや音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 | ・音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。  | ・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。   |
|             |   | う<br>の<br>特<br>徴<br>を<br>生<br>か<br>そ      | 音<br>の<br>つ<br>な<br>が<br>り<br>方      | 創作：<br>作曲                                       | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。    | ・リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。   | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。   |
|             |   | 日<br>本<br>の<br>伝<br>統<br>音<br>楽           |                                      | 鑑賞：<br>箏曲<br>「六段<br>の調」                         | ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。                        | ・音色・リズム・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |
| 三<br>学<br>期 | 1<br>・<br>2<br>・<br>3<br>月              | を<br>こ<br>め<br>が<br>ら<br>歌<br>お<br>う      | 情<br>景<br>を<br>思<br>い<br>浮<br>か      | 歌唱：<br>校歌・<br>赤とん<br>ぼ・<br>式歌                   | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。    | ・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。   | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。   |
|             |   | う<br>現<br>を<br>創<br>意<br>工<br>夫<br>し<br>よ | ぶ<br>さ<br>わ<br>し<br>い<br>器<br>楽<br>表 | 器楽：<br>アルト<br>リコー<br>ダー                         | ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法・身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。           | ・音色・速度・旋律・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。  | ・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。   |
|             |   | じ<br>微<br>取<br>つ<br>て<br>聴<br>こ<br>う      | 曲<br>想<br>と<br>音<br>楽<br>の<br>特      | 鑑賞：<br>魔王                                       | ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。  | ・音色・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。                     | ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。   |
| 評価方法        |   | 単元テスト                                     |                                      | ペーパーテスト<br>レポート                                 |  | 振り返りシート<br>授業態度・行動観察   |   |

### 学習の進め方

- ・1週間に1回の授業のため授業を大切にすること、授業内で内容を理解することを柱とし授業を展開していきます。
- ・毎時間、授業始めに忘れ物調べから始め、単元ごとに振り返りし習熟度を測ります。
- ・歌唱や器楽は、単元終わりに(一人・ペア・グループ)ごとにテストを行い、その都度評価を伝えていきます。